

## UCO「ネットラジオ」出演

ユーシーオオサカ(UCO、大阪コミュニティ通信社)さんのネットラジオに出演した。私が担当したテーマは「山田明の大阪市政ウォッチ」である。写真は 26 日から 28 日放送の案内である。

1 回目は、「なぜ大阪市会の傍聴を続けるのか」、2 回目は「陳情書提出と市議会委員会傍聴」、3 回目は「大阪市議会議員定数大幅削減の暴挙」である。ネットラジオで 10 分ほど解説し、その内容をレポートして紹介している。

私は「大阪市政ウォッチ」を担当して、今回は大阪市議会を取りあげた。大阪市に転居して 5 年半余り、市議会の傍聴を続けてきた。名古屋にいた頃には考えられなかったことだ。

それだけ大阪の「維新政治」が酷いものであり、市民として、長年にわたり地方自治、地方行財政を調査・研究してきた者として黙ってはおれなかったからだ。

議長宛てに陳情書を提出し、怒りを膨張させて本会議や委員会の傍聴を続けてきた。今では議会事務局の人たちと顔なじみになった。私にとって大きな「変化」である。

ネットラジオ放送では 5 月 18 日・19 日の大阪市会本会議、30 日の都市経済委員会、そして 6 月 9 日の本会議の傍聴を紹介した。統一地方選のあと最初の市会の「目玉」は、市議会議員定数の大幅削減であった。

これまで議員定数問題は、会派間で時間をかけて議論してきたが、今回は少数会派を無視して採択された。読売新聞によると、衆院選が取りざたされる中、「身を切る改革」をやった方が維新に得策ということで、今議会で強引に採択したという。これが大阪の維新政治の現実なのだ。

放送収録は西九条の UCO で行われた。1 回目は道を間違え駅まで迎えに来てもらい、3 回目は急きょ歯科で抜歯してから行っただけで、あまりバシッとできなかった。こんなハプニングもあったが、なんとか放送してもらうことができ、UCO スタッフに感謝している。幼少から高校生あたりまで吃音に悩まされた私が、ラジオに出演するとは思ってもいなかった。ラジオで自分の声を聞くと、まだまだ「反省」することばかりだ。

(2023 年 6 月 29 日)

